

## 実践事例⑧ 港区立御成門中学校

### 1 取組・活動名

「ボランティアマインドの醸成」

### 2 取組・活動のねらい

- 周囲を思いやる心や感動する心を持ち、周囲と豊かな関係を築ける生徒の育成
- 自分に自信を持ち、目標に向かって努力できる生徒の育成
- スポーツに親しみ、自らの健康や体力の向上に取り組む生徒の育成
- 日本及び他国や地域を理解し、自ら学び行動できる国際感覚をもった生徒の育成
- 社会に貢献しようとする意欲をもった生徒の育成

### 3 教育課程上の位置付け

「総合的な学習の時間・各学年9時間程度」

「特別活動・3時間」

### 4 実施上の工夫

- ・ 地域との連携を重視する。
- ・ 地域の行事や地域社会を「支える」活動への参加を通し社会貢献の心を育む。
- ・ 教科の学習を通し、地域を知り、守りたい、残したいと実感させる。
- ・ 既存の活動の充実を図る。
- ・ 「対話力」を高めることで、深い学びのできる生徒の育成を図る。

### 5 本取組・活動の内容



#### 「落ち葉掃き」

- ・ 例年より早く、10月末から落ち葉掃きを実施した。
- ・ これまでは、生徒会が中心だったが、今年は、1年生のあるクラスから自主的に始まり、それに誘われるかのように落ち葉掃きの輪が広がっていった。
- ・ 雨天や冷え込みの厳しい日もあったが、朝の20分、しっかりと活動が続けられた。
- ・ 近隣の会社の方も声をかけてくれたり、温かい目で見守ってくれた。



### 生徒会「交通安全運動」

- ・ 春・秋の全国交通安全週間に合わせ、愛宕警察署の方と一緒に、御成門交差点に立った。はじめは、秋の交通安全運動週間だけでしたが、28年度からは、春の交通安全運動期間も行っている。
- ・ 登校してくる御成門中学校の生徒だけでなく、連携校の御成門小学校の児童や地域の方々に対しても、交通安全を呼びかけた。



### 図書委員会による 「地域での読み聞かせ会」

- ・ 今年度は、神明中高生プラザ、愛宕保育室の2か所で実施した。
- ・ 聞いている子供たちの「輝いた目」が印象的であった。
- ・ この活動に、図書委員以外の生徒が、自主的に参加するようになり、そして、この活動がきっかけとなって、新たに地域と連携して防災紙芝居の読み聞かせを行うことになった。

## 6 成果

- ・ 共生社会の構成員となる子供にとって必要不可欠な資質である「社会に貢献しようとする意欲」や「他者を思いやる心」という資質を身に付けることができた。
- ・ 地域との連携を重視し、地域の行事や、地域社会を「支える」活動への参加を通して生徒の社会貢献の心や、社会参画の精神を育み、ボランティアマインドの醸成に結び付いた。
- ・ 生徒は身近な文化財や自然、建築物、商店街や地域の行事など、様々なものを「残したいもの・守りたいもの」として挙げた。個人、クラスや学年、あるいは学校全体で、皆で力を合わせて残し守るために、自分たちが何をすればいいのかを考える活動から、地域社会を「支える」活動への参加意欲が生まれ、ボランティアマインドの醸成につながった。
- ・ ボランティアマインドの醸成により生徒の自尊感情（自己肯定感）が高まり、「主体的・対話的で深い学び」のできる生徒の育成につながった。